

平成 31 年度 岡山県立倉敷天城中学校 適性検査Ⅱ 正答例

課題 1

- (1) ほかのこと ひたすら
- (2) 本当にこの知識は正しいのか (。)
- (3) ①思考のむだを省き，いちいちゼロから考えなくてもすぐに行動できるようにするため。(39字)
②偏見や思い込みをもたらす習癖 (14字)
- (4) ひとつの知識だけを単純に信じたりせず，それがいつでも通用する正しい知識かどうか，他の人の見方も確かめながら学んでいくことで，偏見から解放された状態になること。(79字)

課題 2

「千里の道も一歩から」ということわざから，自分自身が挑戦する「千里の道」と中学校生活で踏み出す最初の「一歩」が，その「一歩」を選んだ理由もふくめて具体的に200字以内で書かれているものを評価する。

課題 3

- (1) 国産の入荷量が少ない時期にあわせて，外国産を輸入しており，輸入されたアスパラガスが，国産の不足を補っている。
- (2) ①米と野菜の消費量が減少し，肉類と乳製品の消費量が大幅に増加しているから。
②肉類と乳製品の消費量が増加したにもかかわらず，その2つの自給率が大きく低下したから。
- (3) ○出荷日を見ることで，新鮮な野菜かどうか判断できるということ。
○誰が作った農産物かわかっているので，安心して買うことができるということ。